

日義村誌民俗編 目次

口 絵
村誌発刊のことば 日義村長 長渡 行雄
例 言

第 章 ムラの暮らし …………… 一

第一節 藩政時代の自治組織…………… 三

第二節 現在の自治組織…………… 四

一 役 員…………… 四

1. 宮越地区

2. 原野地区

二 役員の任期と選出…………… 四

第三節 共有財産の管理…………… 六

共有地 区有林 学林と恩賜記念林設置 区

有財産の統一 林野保護組合の設立 山のき

まり 山の役

組合のきまり

第四節 ムラの仕事…………… 九

溝掘り 丁場の雪かき 垣根結い 野火付け
ムラ仕事の免除

第五節 制裁・援助・相互扶助…………… 三

ムラの制裁 ムラの援助 手間がわりとおん
まい 郷倉制度

第六節 年齢集団…………… 五

一 こどもの集団…………… 五

かわらめし 相撲 水神様 サイの神 少年
団 らっぱしよう

二 若者の集団…………… 六

男子青年団 女子処女会 婦人会

三 同級 同窓…………… 三〇

同窓会 同級会 ご詠歌仲間
老人クラブ

第七節 地字・部落・家名……………三

一 地 字……………三

二 部 落……………六

三 家 名……………七

第一章 衣・食・住……………三

第一節 衣生活……………三

一 衣 類……………三

(1) 上 衣……………三

ハンテン ソデナシ

(2) 下 衣……………三

便利なユキバカマ モンペ マエカケ

コシマキ

(3) かぶり物……………三

手ぬぐい イタガサ ミノ

(4) 履き物……………三

わらの活用 ぞうり わらじ 雪ぐつ

(5) 晴れ着……………三

①こどもの晴れ着

ウブ着 お宮参り

②大人の晴れ着

結婚式 仏事

二 紡 織……………三

- (1) 麻布を織る
- (2) 繭から糸をとる
- (3) 真綿をとる

第二節 食生活……………三

一 日々の食物……………三

(1) 主 食……………三

(2) 粉 食……………三

やきもち めん類 おつけわかし うす

やき

かいもち こうせん

(3) 間 食……………三

オコビル

(4) 調味料……………三

みそ タマリ しょうゆ豆

(5) 漬 物……………三

漬菜 ダイコン ナス キュウリ

カブ スンキ

(6) 肉と魚介類……………三

肉 魚類

(7) 山菜きのこ類……………三

二 祝い月日の食物……………三

赤飯 もち ノリもち マユダマ

ササマキ ホウバマキ ボタもち

ホオバメシ 祝言の料理

三 飢饉の食物……………三

	トチの実	ソラミ	ノムギ	ワラビ	
	ビョーブ				
	四 食品の貯蔵	野菜の貯蔵	ホシイ	凍りもち	五
	凍み豆腐				
	第三節 住居				六
	一 屋敷				六
	二 屋敷内の建物				六
	土蔵	食器類	便所	みそ部屋	
	三 間どり				六
	ニワ	タナモト	ヒバタ	ヒダナ	
	ザシキ	マヤ			
	四 屋根				六
	屋根板へぎ	板ぶき屋根	トタンぶき屋根		
	五 建築儀礼				七
	ジマツリ	ドウツキ	ムネアゲ		
	ヤウツリ				
	六 建築事例				七
	第三章 生産・生業				七
	はじめに				
	第一節 稲作と畑作				七
	一 稲作				七
	種まき	田起こし	苗代づくり	保温折衷苗	
	代	水温を上げる工夫	代かきふませ	田植	
	え	いろいろな植え方	田草とり		
	二 稲の収穫と調整				七
	稲刈り	稲架	コバシ	もみすり	精米
	車				水
	三 畑作				七
	第二節 畜産				七
	一 馬				七
	木曾馬	放牧	出産	馬小作	馬の飼料
	刈り干し	馬の手入れ	馬飼育の衰退		
	二 牛				七
	馬から牛へ				
	三 その他の畜産				七
	ウサギ	ヤギ	ニワトリ		
	第三節 養蚕				七
	掃き立て	桑くれ	上簇	繭かきと毛羽とり	
	第四節 林産				七
	一 炭焼き				七
	炭がま	黒炭と白炭	黒炭の焼き方	白炭の	
	焼き方				
	二 きこの栽培				七

第五節 狩猟と漁撈……………二〇

一 狩 猟……………二〇

クマ クラシシ ウサギ 鳥屋 モチ クブ

チ ワナ オトシ

二 漁 撈……………二二

釣り トアミ カジカ網 フンゴミ スイメ

ン ウケ 川干し 養殖の田ゴイ

三 その他……………二三

イナゴとり ハイスガレ

第四章 交通・交易……………二五

第一節 交 通……………二七

一 道と道普請……………二七

道とくらし 道普請

二 運 搬……………二九

(1) 背負う

しよいなわ セゴ 背板

(2) 担 ぐ

てんびん棒

(3) 引っぱる

木まわし

(4) そ り

木ン馬 バーセ

(5) その他

鉄さく

(6) 畜力 車による運搬

荷駄 サンゴイ 荷車 荷馬車 人力車

乗合馬車 自転車 一輪車

第二節 交 易……………三七

一 行商と市……………三七

シヨイアキンド 盆暮れ勘定 仲買人

二 馬 市……………三九

そで下取りひき

第三節 通 信……………三三

言い継ぎ 回覧板 バンギ 電話

第五章 民間信仰……………三三

第一節 ムラの神社……………三五

一 南宮神社……………三五

二 原野八幡宮……………三六

三 旗拳八幡宮……………三七

四 諏訪神社……………三八

第二節 祭 り 三

南宮神社 旗竿八幡宮 原野八幡宮 神谷の祭り

第三節 小祠の祭り 四

水神様 神明様祭り 八朔祭り 金比羅様 戸隠様の祭り モロキ様の祭り 山の神 若宮の祭り

第四節 仏への信仰 四

寺と檀家 観音様 岩華観音 善光寺さま 二十三夜さま 薬師さま 念仏百万遍 ことども地蔵 おとりこし

第五節 講 四

一 代参講 四
戸隠講 秋葉講 伊勢講 御獄講 駒岳講 三峯講 天神講 庚申講 念仏講

第六章 民俗知識 五

第一節 俗 信 六

一 予 兆 六
自然現象による予報 動植物によるもの

二 禁 忌 三

三 夢見 その他 三

四 占 い 六

お神籤と御座立て 了源寺

第二節 民間療法 七

一 民間薬療法 七

下痢 腹痛 歯痛 外傷 打ち身 ひび あかぎれ 蜂にさされたとき できもの のどに骨がささったとき かぶれ 神経痛 熱さ まし 精をつける 体のだるいとき いぼと り かぜ 虫下し ひきつけ 寝小使 虫封じ 出産

二 まじない 七

サラシ掛け 六三除け 星除け 端午の節句のシヨウブ

第七章 人の 生 七

第一節 婚 姻 七

組みのはじまり 酒入れ 結納 荷運び 足入れ 嫁入れ 盃ごと ふるまい 婚礼の今昔

第二節 妊娠と出産……………一八二

一 妊 娠……………一八二

帯結び

二 出 産……………一八三

とりあげ 産湯

第三節 育 児……………一八三

三日だんご お宮参り 食い初め 子守

第四節 成長に伴う儀礼……………一八三

初誕生 初節句 七五三 年祝い 厄年 徴

兵検査と成人式

第五節 葬 礼……………一八七

一 臨終から葬式まで……………一八七

目を落とす 告げ 湯灌 納棺

二 葬 式……………一九〇

葬 式

三 供 養……………一九二

法要年忌 七日さらし 四十九日 年忌 新

盆

第八章 年中行事……………一九五

はじめに

第一節 正月行事……………一九五

一 正月準備……………一九五

ススはらい オマツさま 餅つき 年とり

二 大正月……………一九七

若水 ぞうに 仕事はじめ 三日年

ナナクサ 蔵開き

三 小正月……………一九九

若ドシ マユ玉 サイノカミと十四日年

第二節 春から夏へ……………二〇一

一 春の行事……………二〇一

節分 初午 山の講 おねはん 春の彼岸

ひな祭り 卯月八日 義仲さま 端午の節句

二 夏の行事……………二〇五

原野祭り 馬市 お盆 カワラ飯 らっぱし

よ

第三節 秋から冬へ……………二〇九

南宮神社祭 秋の彼岸 十五夜 山の講 え

びす講 コバシ納め 冬至

第九章 民俗芸能 三三

はじめに

第一節 舞い・踊り・練りもの 三五

神楽 長持 こども御輿 歌舞伎 地芝居
巴太鼓 屋台踊り 三河万才 猿まわし
こぜ あめ売り 盆踊り

第二節 相撲と力石 三〇

相撲と力石

第三節 こどもの遊び 三三

一 遊びのいろいろ 三三

ばんばん 棒ベース 輪まわし ゴム管 か
くれんぼ 鬼ごっこ 陣取り 戦闘開始 そ
り ノツベ 竹スキー たこ揚げ こままわ
し おだま なわとび あやとり 竹なげ
おはじき てんまり およばれ ほおずき鳴
らし エノバラ 石けり 坊さんぼうさん
子取り おしくらまんじゅう おし出し か
ごめかごめ

二 山野での遊び 三〇

第四節 歌 三三

一 わらべ歌 三三

幼児を遊ばせるしぐさ ことば 呼びかけこ
とば 赤だんご からすとんび おいべつ様
指きり なんだ坂こんな坂 塞の神 ラッポ
シヨ

二 俗謡 三六

長持唄 相撲甚句 祝い歌 土搗歌 木曾甚
句 旭將軍 日義八景音頭 義仲公出陣かぞ
え歌

三 漢詩 和歌 俳句 三四

漢詩 和歌 俳句

第十章 口頭伝承 三三

第一節 伝説・昔話 三五

一 植物 三五

南宮様の大榲 隠居垣外の榲 若宮の榲 お
玉の榲 旗拳八幡の榲 御霊の榲 貴船の榲
巴の松

二 水 三六

蛇切り淵 巴淵と巴御前 義仲の水 犬切り
沢

三 石 岩 三九

明星岩 七尋石 濃ヶ池 山吹姫と山吹山
 巴のつらぬき岩 小枝ヶ岩 白岩 権兵衛の
 歙入岩

四 屋敷と原……………二五

宮の原 元宿 陣立原 七笑橋と立場

五 寺 堂 祠……………二五

柏原寺跡 岩華観音 白竜様 お地藏様にな

った旅人 野上の供養塔

六 その他……………二五

鷹の兵衛門 貉に化かされたきこり 車夫の

恩義に感じた話 三代前の約束 力持ち権兵

衛 狐に化かされた獵師

第十章 方言……………二五

第一節 日義のことば……………二六七

第二節 日義のことばの特徴……………二六七

濁ることが多い 「我」の使い方

第三節 日義村の方言語彙……………二六八

一 住宅関係……………二六八

二 人の呼び方……………二六八

三 植 物……………二六九

四 動 物……………二七一

五 語 彙……………二七三

執筆者 関係者名簿……………二七七

あとがき